

令和元年度 学校評価結果報告書

上田市立丸子北小学校

1 学校教育目標

- (1) 仲良く助け合う子
- (2) 進んで学び、自分の考えが言える子
- (3) 最後までやり抜く子

2 めざす子どもの姿・中間的な目標（具体的目標）等

- (1) 学力向上と授業改善
- (2) 心みがき清掃(自問清掃)
- (3) 居心地の良い学級づくり

3 昨年度（平成30年度）の学校評価の成果と課題

(1) 成果と課題

- ①児童アンケート⑥「勉強はよく分かりますか」で、D「わからない」が全校で1名になった。
「授業のユニバーサルデザイン化」に心掛け、ICT機器も効果的に活用することで、「わかる授業」が進んだと考えられる。職員アンケート授業改善等の項目⑥～⑩でも、1学期より大幅に向上し、授業改善が進んだ。課題であった「振り返り」や「見とどけ」も8%向上し、定着しつつある。重点研究グループの取り組みに課題が残った。研究の方向性を明確にして部会内で共有し、職員一人ひとりの課題や実践へとつなげていきたい。また、各部会の研究を、全体に広げられるよう、情報の共有化を工夫したい。
- ②職員アンケート⑦「子ども自身が今持っている力で考え、行動し、『自分の力でできた』と実感できる授業づくりをしているか」という項目では、1学期と比べ11%向上した。「生活科」や「総合的な学習の時間」を始め、日々の授業の中で、子どもたちが自ら考え動き出す「主体性」に重点を置いてきた成果が出ている。今後も、「教師主導の授業」から脱却し、アクティブ・ラーニングなどを取り入れながら、主体的な学びを育てていきたい。
- ③Q-U検査分析を年2回実施すると共に、講師を招聘して研修を深め、児童理解に努めてきた。また、全学級で「個別の指導計画」を作成し、個に応じた指導や支援が行えるよう取り組んできた。今後も、多様な角度から児童理解を深め、全ての子どもたちにとって居場所や存在感のある学級づくりを行っていくと共に、いじめや不登校未然防止に努めていきたい。
- ④保護者⑩「学校は登下校時の交通安全確保や不審者対策について適切な手だてをうっている」が、昨年度に比べ14%向上した。今後も、日々の安全指導や安全に関わる「安心メール」の配信を丁寧に行っていくたい。
- ⑤職員アンケート⑩「非違行為防止に努めているか」が、昨年度より11%向上した。今後も同僚生を大切にしながら、全職員で非違行為防止に努めていきたい。

4 今年度の重点と目標達成のための具体的取組

重点目標	具体的取組
1 学力向上と授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業改善や学力向上をめざした重点的な取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・低学年から高学年へとつながりのある研究 ・スキルアップトレーニング ・授業の基本スタイルの徹底 シャープな導入→自分で読み、考える→話し合い（伝え合い） →見返し（見とどけ） の時間確保 ・NRT、PDCA調査等による評価で課題の明確化 ○ 教職員の指導力向上のための研修 <ul style="list-style-type: none"> ・一人一公開実施。教材研究 ・「学び合い学習」の研修 講師：麻布教育研究所長 村瀬 公胤 先生 ○ 子どもを育てる家庭・地域との連携＞ <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の形成 ・「つむぐ」の活用 ・家庭学習に学習時間（15分×学年）の目安をもたせる取り組み ○ 「授業のユニバーサルデザイン化」と「個別の指導計画」の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・見通しがもてる授業の流れの提示 ・「個別の指導計画」見直し研修
2 心みがき清掃 （自問清掃）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全校で「共通の意識」をもって取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・「心みがき清掃」の職員研修を行う ・全校集会や毎週月曜日の清掃前の放送を通して、子どもたちの取り組みの工夫やよさを紹介する ・「振り返りノート」の掲示 ○ 日課に「振り返りの時間」を位置付け、毎日自己を振り返る時間を位置付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・「振り返りノート」などを活用し、自己の振り返りを行う
3 居心地の良い 学級づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「お互いに認め合う学級づくり」の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な友だちと認め合い、支え合える関係づくり ・教師も子どもも「人権感覚」を研ぎ澄ます ・解放子ども会指導等での職員の学びを学級経営に活かす ・「褒める」「受け止める」を大切にしながら、日頃の声掛けや学習支援を行う ・異年齢とのふれあいの時間の充実 ○ 児童理解を深める <ul style="list-style-type: none"> ・「北小っ子タイム」で教師と子どもがふれあう ・Q-Uの活用（年2回の「Q-U検査分析」研修） ・学級状況の把握と、きめ細かな支援 ・いじめの未然予防 ○ 自分から進んであいさつのできる子ども <ul style="list-style-type: none"> ・児童会のあいさつ運動、「地域交流あいさつデー」への参加

5 評価の方法

(1) 学校自己評価作成の経過

月	内 容
4月	・学校評価シートの作成と公表（PTA総会等で説明、学校ホームページ掲載）
6月	○第1回学校評議員会で、本年度の学校評価の説明と意見交換
7月	・学校自己評価（中間報告：教職員アンケート）の実施
10月	・学校自己評価委員会でアンケート結果のまとめと考察 ・職員会での報告と2学期に向けての方針の確認 ○第2回学校評議員会で、学校自己評価（中間評価）の意見交換 ・アンケート結果と学校評価シート（中間報告）をホームページで公表
11月	・教職員・児童・保護者各アンケートの作成 ・教務学年主任会検討・職員連絡会にて提案
12月	・教職員アンケート配付、回収 ・職員会にて最終検討 ・児童・保護者アンケート配付、回収
1月	・児童・保護者・教職員アンケート結果と課題の分析 ・教務会・職員会で提案協議 アンケート結果の分析とまとめ
2月	○第3回学校評議員会で、教職員・児童・保護者アンケート結果を検討し、学校評議員からの意見を受けて学校関係者評価を作成する。
3月	・「学校自己評価」と「学校関係者評価シート」をホームページで公表する。 ・「保護者アンケート結果」を学校だよりで公表する。

(2) 学校関係者評価（組織等）

民生児童委員、学校ボランティア、元PTA会長、等 5名（男性3名、女性2名）

6 自己評価（児童、保護者、職員）の結果と分析

※添付資料①～④参照

7 学校関係者評価の結果と分析

※添付資料⑤参照

8 自己評価・学校関係者評価の公表

- (1) 5月～6月上旬に、学校評価シートについてPTA総会、学校だより、ホームページで公表。
- (2) 10月上旬に、学校評価シート（中間報告）をホームページで公表。
- (3) 2月下旬に、学校評価シート（最終報告）とアンケート結果をホームページと学校だよりで公表。3月上旬に上田市教育委員会に報告書提出

9 設置者（上田市・上田市教育委員会）への要望

特になし

10 まとめと次年度に向けて

(1) 「学力向上と授業改善」

- ・「授業のユニバーサルデザイン化」や「学び合い研修」、「個別の指導計画研修」「Q-U研修と検査の活用」などを通して授業改善が進み、見通しをもって主体的に活動に取り組む児童の姿が多く見られるようになってきた。引き続き、「一人一公開」を始め、お互いの授業を見合うなどして日頃の授業を見返したり、研修の機会を設けたりして授業改善に努め、教員の資質向上を図っていききたい。
- ・「宿題を毎日きちんとしている」と回答した児童が、13%増加した。「つむぐ」の活用と、保護者のサポートにより、家庭学習の習慣や質が向上してきている。自主学習に取り組む児童も増えてきた。
- ・今後も、個に寄り添いながら児童の実態に合った課題を設定したり、ペアやグループ活動を取り入れたりしながら、振り返りを丁寧に行い、基礎・基本の力を確実に身に付けると共に、主体的で対話的な学びを実現していききたい。

(2) 「心みがき清掃」

- ・日課に「振り返りの時間」を位置付け、毎日自己を振り返ることで、自己と向き合う姿が多く見られるようになってきた。個人差はあるが、学校全体の意識も高まってきている。
- ・さらに、全校で一丸となって取り組んでいけるよう、個々の取り組みや振り返りの良さを全体に広めながら、全校の意識を高めていきたいと考える。

(3) 「お互いを認め合う学級づくり」

- ・本年度も、Q-U検査分析を年2回実施すると共に、講師を招聘して研修を深め、児童理解に努めてきた。また、全学級で「個別の指導計画」を作成し、個に応じた指導や支援が行えるよう取り組んできた。児童アンケートで、「学校がとても楽しい」と答えた児童が、昨年度より4%増加するなど、お互いのよさを認め合える活動を大切に位置付けて取り組んできた成果が表れてきたと考える。
- ・今後も、「Q-U研修」や「特別支援教育研修」などを行いながら、多様な角度から児童理解を深め、全ての子どもたちにとって居場所や存在感のある学級づくりを行っていくと共に、いじめや不登校未然防止に努めていききたい。

(4) その他

- ・職員アンケート⑩「非違行為防止に努めているか」の達成度が91%を占めるなど、職員全体の意識が高まった。今後も同僚生を大切にしながら、全職員で非違行為防止に努めていききたい。
- ・「学年便り」や「学校便り」、「学校HP」など、定期的に発行・更新するよう心掛け、積極的に情報を発信することができた。保護者のA評価が5%増加した。